



**地域主体で建設場所や整備のあり方を検討し、地域住民と共有して計画を進めました！**

夕日の眺望を楽しめる展望スペースとすることや、避難しやすくするために階段の幅を広くすること、雨天時でも子どもを含め楽しめる空間や、地域の生業を活性化させるための商業スペースを設けることなど、魅力と安全を高めるための地域の意見が反映された計画になりました。

検討委員会により全12回の協議を重ね、設置場所から施設の内容などがまとめあげられました。地域の人たちの考えと思いが詰まっ

施設の計画はどう決まりましたか？

建設に至る経緯を教えてください  
土肥地区は、全国初の『海のまち安全創出エリア（津波災害特別警戒地域・オレンジゾーン）』の指定を受け、津波防災の先進地域となり、『観光防災まちづくり』に取り組んでいます。  
今回、土肥で安心して観光を楽しんでもらうための新たな避難施設として、『防災』と『観光』の機能を兼ね備えた、全国初の『津波避難複合施設』の建設が決まりました。

**『伊豆市津波防災地域づくり推進協議会会長』に聞きました**

**全国初の『津波避難複合施設』計画**

地域住民が主体だからこそ生まれた、

た施設として、これからの土肥の自慢の場所になると感じています。  
どんな施設になりますか？  
津波発生時に1230人を収容できる避難タワーは、平時は観光施設として、また地域の人も利用できるコミュニティ施設になります。松原公園も再開発し、土肥に来る観光客の目的地の1つとなると思います。海や夕日など土肥の魅力を表現し、観光防災まちづくりのシンボルとなる複合施設として、環境に配慮し、溶け込む設計になっています。また、地域の人たちにも気軽に利用してもらい、観光客や地域の人の交流の場としても活用される施設になることを期待しています。



東京大学生産技術研究所  
教授 博士（工学）  
かとう たかあき  
**加藤 孝明 教授**  
専門分野は都市計画・まちづくり・地域安全システム学

完成後、どんなことを期待していますか？

私は、施設前の砂浜で夕日を見ながら、施設のレストランに料理を用意してもらい、デザイナーを利用なども夢見ています。結婚式の今回、地域の皆さんが侃侃諤諤の議論にて決定したプロセスは、土肥地区の大切な財産になったと思います。その財産を活かし、施設活用についても地域の皆さんで考え、それぞれのアイデアや夢を持ち、観光客と地域の人たちが安心して、交流を深める場所として、土肥地区の活性に結びつくことを期待しています。

松原公園で

**全国初の『津波避難複合施設』建設が始まります**

問合せ 危機管理課 ☎0558(72)9867



**令和6年春オープン予定**

複合施設の名称は公募により検討委員会で選考する予定です。

- 4F  
展望  
(避難スペース)
- 3F  
避難・飲食  
(避難スペース)
- 2F  
キッズ・  
フリースペース
- 1F  
商業

松原公園は、大規模地震発生時に最短6分で津波が到達することが予想されています。海で遊ぶ観光客や地域の住民が津波の脅威から身を守る避難施設として、平時は遊ぶ、くつろぐ、交流できる観光施設として『防災』と『観光』を兼ね備えた全国初の『津波避難複合施設』が建設されます。また、花時計や足湯など、松原公園全体の整備も行なわれます。

**津波避難複合施設について**

津波避難タワー（鉄骨4階建て）

避難面積・収容人数/616㎡・1230人  
高さ/18.8m程度（避難スペースは浸水想定10m+4mの14m以上で設定）

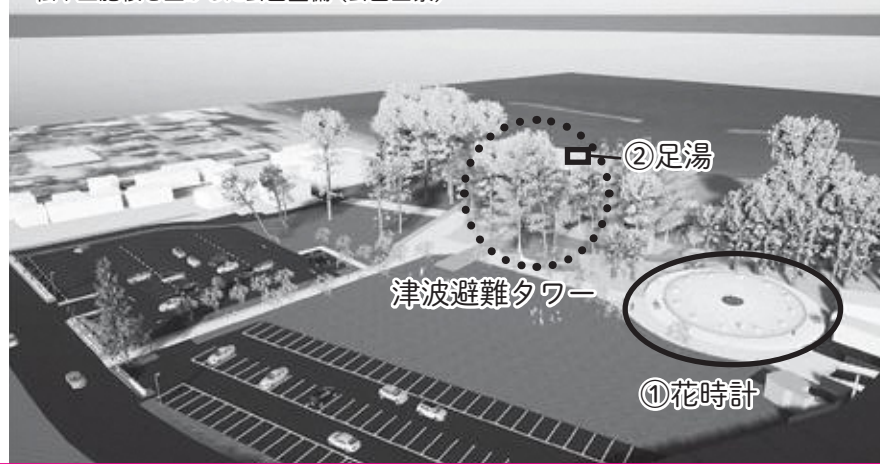
施設の概要

観光客と地域住民が集まる施設として、レストランや売店、フリースペース（交流の場）などが入る予定です。運営方法や入居店舗については、決まり次第お知らせしていきます。

**松原公園の整備について**

- 花時計のリニューアル
- 夕日を見ながら入れる足湯の整備
- 多様な年齢層に対応した遊具の設置
- 松林の散策や、安全に避難できる遊歩道の整備
- 夜間でも安心して避難できる照明の再整備

松や土肥桜を生かした公園整備（公園全景）



①リニューアルする花時計（ライトアップ）



②夕日を見ながら足湯

